

一般社団法人 和歌山青年会議所 創立65周年

記念誌



JCI Junior Chamber International Wakayama

一般社団法人 和歌山青年会議所 創立65周年《記念誌》

65th Anniversary

Junior Chamber International WAKAYAMA

一般社団法人 **和歌山青年会議所**

〒640-8227 和歌山市西汀丁36番地 和歌山商工会議所5階
TEL.073-428-3334(代) FAX.073-431-1693

MAIL. office@wakayama-jc.net URL. <http://www.wakayama-jc.net/>

JCI Junior Chamber International Wakayama

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality; and
That service to humanity is the best work of life.

【日本語訳】 我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

JCI MISSION

To provide development opportunities
that empower young people
to create positive change

【日本語訳】 青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供する

JCI VISION

To be the leading global network of
young active citizens.

【日本語訳】 青年会議所が、行動を起こす青年の国際的ネットワークを牽引する

JC 宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

綱 領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう



和歌山青年会議所 第66代理事長 辻川 大器

和歌山青年会議所は、1957年9月7日に57名の青年たちにより、「明るい豊かな社会の実現」という理念を抱き、大阪青年会議所のスポンサーのもと全国で133番目に設立されました。

地域の懸け橋として、和歌山青年会議所は65年という長い年月を積み重ねてきました。私たち和歌山青年会議所の先輩は、激動する時代において未知の可能性を切り拓き、新しい時代を誰よりも先駆け、より質の高い持続的な成長を続け、地域活性を目指し事業を展開してきました。

一昨年より続く新型コロナウイルスの影響で生活様式が大きく変わりました。マスクの着用が当たり前になり、人と人が距離を取らなくてはなりません。また社会に目を向けてもあらゆる産業で大きなダメージがあり、サービス業に関しても壊滅的な被害を受けており、以前の経済に戻るには時間を要すると考えます。この状況をネガティブに考えるのではなく、急変する時代だからこそ、私たちが力強く社会を牽引する組織へとならなければなりません。

私たちは今、自らの行動によって未来が大きく変わる時代の岐路に立っています。このような不確実性の高い時代だからこそ確かな理想を掲げ熱意を持って臨み、魂を込めて行動することが大切だと考えています。理想を実現することは簡単ではなく、積み重ねてきた65年の歴史を正しく理解し、己の信じる道を貫き行動し続けることが必要です。確固たる信念を持った行動が感動を呼び、周囲の意識を変えることができます。流れに身を任せるのではなく、自らを律し、地域のリーダーとして何事にも恐れず、流れを創る人間になることで私たちのChallengeが地域のうねりを必ず生み出します。

この記念誌から和歌山青年会議所の軌跡をご紹介し我々の運動をご理解いただき、これからも私たちは皆さまと和歌山の明るい豊かな社会の実現に向けて歩んでいきます。

踏み出そう!! 躍進への一歩を



和歌山青年会議所シニア・クラブ
会長

西平 都紀子

和歌山青年会議所が創立65周年を迎えられましたことを、和歌山青年会議所シニア・クラブを代表して現役の皆さまに敬意を表するとともに、一言ご挨拶申し上げます。

創立以来、和歌山青年会議所は「明るい豊かな和歌山市の実現」を常に考え、65年の歳月を重ねてまいりました。

青年会議所運動の基礎に「修練」「奉仕」「友情」の三信条がありますが、最大の魅力は「定年制」でメンバーが入れ替わり、若さが守られる組織であることだと思います。

コロナウイルスの影響により思い描く事業ができない状況が続いていますが、現役の皆さまには、時代の変化に柔軟に対応し今だからこそできる事業を展開し、地域の活性化など課題の本質を議論する会議運営を行っていただき、先駆者として若い力を発揮していただきたいと思っております。

結びに、長きに亘り青年会議所の活動にご理解をいただきご支援賜りました関係各位、行政および各界、各層の皆さまには心より深く感謝申し上げます。また、今後につきましても、青年会議所の活動を暖かく見守っていただき、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。和歌山青年会議所が今後ますます地域から求められ、信頼される存在になりますよう、現役の皆さまの更なるご活躍に大いなる期待を寄せて挨拶いたします。



和歌山県知事

仁坂 吉伸

一般社団法人和歌山青年会議所の創立65周年を心からお慶び申し上げます。

貴会議所の創立以来、皆様は、次代を担う青少年の育成やまちづくりなど、地域社会の発展に多大な貢献をしてこられました。皆様のその情熱と弛まぬ努力に対して、心から敬意を表します。

また、65周年のテーマとして皆様に掲げられた「明るい次代への一歩を踏み出そう」からは、このコロナ禍の中、新しい時代への岐路に立つ今こそ、率先して明るい豊かな和歌山市を創造していくという決意が感じられ、大変心強く思います。

今後とも、和歌山青年会議所の皆様には、若きリーダーとして、確固たる信念により地域を牽引していただくとともに、これまで積み重ねられてきた歴史や経験をそれぞれのビジネスや地域での取組に活かされ、より一層活躍されることを期待しています。

結びに、一般社団法人和歌山青年会議所の創立65周年を契機とした、ますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



和歌山市長

尾花 正啓

一般社団法人和歌山青年会議所が創立65周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

和歌山青年会議所におかれましては、「明るい豊かな社会」を実現させるため、ご尽力されていることに対し深く敬意を表します。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中でも、「Power of わかやま」など和歌山市を元気にする様々な事業を行っていただいている皆様方に対し、心よりお礼申し上げます。

さて、65周年テーマである「明るい次代への一歩を踏み出そう」からは、何事にも積極的に挑戦し邁進していこうという決意を感じ取ることができ、節目の年に皆様方の更なるご活躍を期待しております。

本市としまして、新しい課題に積極果敢に挑戦し、将来に向かって活力ある和歌山市の実現を目指して参りますので、今後ともより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人和歌山青年会議所の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念しましてお祝いの言葉いたします。



和歌山商工会議所
会頭

勝本 僖一

和歌山青年会議所創立65周年、心よりお祝い申し上げます。おめでとうございます。貴会議所が創立以来、「修練」「奉仕」「友情」という3信条のもと、地域に密着した社会奉仕活動を展開されるとともに、国や民族を越えた相互理解の精神で国際親善を深められるなど、幅広く社会に貢献されてこられましたことに改めて敬意を表します。本年度のスローガンは「Challenge」～踏み出そう!!躍進への一歩を～、65周年のテーマは「明るい次代への一歩を踏み出そう」とお聞きしています。

新型コロナウイルス感染症の拡大とロシアのウクライナ侵襲など、世界は極めて混沌としており、先行きの不透明感が増しています。この閉塞感を打破するのは若い力です。今こそ、貴会議所の皆さんが時代の要請に応え、熱い思いと誇りを持ち、力を結集して、新しい時代へ躍進の一歩を踏み出していかれることを大いに期待申し上げます。お祝いの言葉いたします。



公益社団法人 日本青年会議所
第71代会頭

中島 土

一般社団法人和歌山青年会議所の皆様、創立65周年、誠におめでとうございます。本年度、辻川大器理事長のもと「Challenge」～踏み出そう!!躍進への一歩を～を掲げられ、社会課題に対し、多くの持続可能な仕組みをつくる運動を展開される事と存じます。

これまで長年に渡り、日本青年会議所へ、素晴らしい人材をご輩出下さっておりますことに衷心より感謝申し上げますとともに、青年会議所運動を通して、まちに多くの価値を創出して来られたことに対しまして、心より敬意を表します。

日本青年会議所と致しましては、「まちにより良い変化をもたらす愛が溢れる国をつくる」を基本理念として掲げ、各地青年会議所と手を携え、皆様のまちをより良くするための運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、私共を大いに活用頂ければ幸いです。

結びに、65周年の大切な節目の年に、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。



公益社団法人 日本青年会議所
近畿地区協議会 会長

中山 吉典

一般社団法人和歌山青年会議所メンバーの皆様、特別会員の皆様、創立65周年を迎えられましたことに謹んでお慶びを申し上げます。

今年度、理事長が掲げる『“Challenge”～踏み出そう!! 躍進への一步を～』というスローガンのもと、市民や地域の輝かしい未来のために力強い運動を展開されていることと存じます。

2022年度近畿地区協議会は、“リデザイン”未来への共感が織りなす愛と情熱溢れる幸せな近畿”をスローガンに掲げ、地域を取り巻く社会課題と向き合い、92LOMの力強い運動発信を支援できる組織であり続けたいと考えております。さらに、出向いただいた多くのメンバーにLOMの発展に寄与できるよう、しっかりと「学び」を持ち帰っていただける環境を整えます。情熱をもって、共に未来へ進みましょう。

和歌山青年会議所の共感が、地域から日本へ、日本から世界へと拡がり大きな成果を収められますことを御祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



公益社団法人 日本青年会議所
近畿地区和歌山ブロック協議会 会長

坂本 耕作

貴青年会議所の創立65周年にあたり、謹んでお祝いを申し上げます。

本年、和歌山青年会議所の皆様におかれましては、辻川大器理事長の「Challenge」という理念のもと、「踏み出そう!! 躍進への一步を」をスローガンとして掲げられ、明るい豊かな社会の実現に向けて力強く邁進されていることに、心より敬意を表します。

また、これまで長年に渡り和歌山ブロック協議会へ多大なるお力添えを賜り、心より感謝申し上げます。

本年、和歌山ブロック協議会と致しましては、「歴史と変革が調和した愛と希望溢れる和歌山の創造」を基本理念に掲げ、和歌山県内8LOMを支援する協議会として、各地青年会議所の運動を全力で支援させていただくための運動を展開しております。引き続き、深いご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに皆様の益々のご健勝ご多幸を心よりご祈念申し上げます。



スポンサー JCI
一般社団法人 大阪青年会議所
理事長

梶本 秀則

一般社団法人和歌山青年会議所が、「明るい次代への一步を踏み出そう」をテーマに、記念すべき創立65周年の良き日を迎えられましたことを友好LOMである一般社団法人大阪青年会議所を代表し心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所が創立されてから同じ65年の歴史を互いに時を刻んできたことを誇りに思うとともに、心より感謝申し上げます。

また、一般社団法人和歌山青年会議所の先輩諸兄、また現役会員の皆さま方のご熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表します。

本年度、一般社団法人和歌山青年会議所の皆さまにおかれましては、辻川大器理事長が掲げられます「“Challenge”～踏み出そう!! 躍進への一步を～」のスローガンのもと、明るい豊かな社会の実現のためにご活動され、和歌山の次の5年、10年と未来のために進化を遂げられていくことと存じます。

結びとなりますが、創立65周年を契機とし、新たな素晴らしい歴史を築かれ、一般社団法人和歌山青年会議所のますますのご発展、そして皆さまのさらなるご活躍をご祈念し祝辞といたします。



姉妹 JCI
議政府青年会議所 会長

キム・ヒョンジュン

和歌山青年会議所創立65周年記念を議政府青年会議所の会員を代表して心からお祝い申し上げます。また、「“Challenge”～踏み出そう!! 躍進への一步を～」をスローガンに和歌山青年会議所を力強く引っ張っている辻川理事長に敬意を表します。

和歌山青年会議所と議政府青年会議所は、1973年11月に姉妹提携を結び、約50年にわたって深い兄弟の縁を築いてきました。この場をお借りして、全ての諸先輩方に心から感謝申し上げます次第です。

約50年の時間の流れの中で、数多い苦難を乗り越えた諸先輩方が若さを捧げて成し遂げられたJCIの理念と価値を、和歌山青年会議所と議政府青年会議所が最善を尽くして実践していきたいと思っています。

65年という誇らしい歴史と伝統を受け継いでいる和歌山青年会議所の辻川理事長をはじめ会員の皆さまにエールをお送りします。今後とも和歌山青年会議所が積み重ねてきた素晴らしい業績を発展させ会員の皆さまが一つになって地域社会開発、国際社会友好増進を實踐する健全な青年組織に発展することをお祈り申し上げます。

最後に、改めて和歌山青年会議所創立65周年記念をお祝い申し上げますとともに会員の皆さまのご健康とご健勝をお祈り申し上げます。



姉妹 JCI
香港沙田青年商會 会長

Nero Chung (ネロ・チャン)

和歌山青年会議所創立65周年記念式典の開催を香港沙田青年商會を代表し心よりお祝い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸、そして両JCIの友好がこれからも永遠に続くことを祈っております。

2022年の和歌山青年会議所のスローガン「“Challenge”～踏み出そう!! 躍進への一步を～」これは、新型コロナウイルスが大流行している困難な時期においても一步を踏み出すことでメンバーそれぞれが挑戦することを勇気づけ後押しするものです。

我々JAYCEEは積極的な変革を起こすために挑戦をやめません。「ニューノーマル」の時代の中でチャンスを見いだせない人々の模範となるのが重要です。

ワクチン開発と衛生状態の改善により、ウィルスとの戦いの最終的な勝者となると信じています。しかし、ソーシャルディスタンスをとることが当たり前になったことで、多くの習慣が変化しました。このような状況の中で新しい一步を踏み出すことは私たちに必要不可欠なステップだったのです。挑戦するということは、私たちだけでなくこれからの世代にとっても欠かせません。持続可能性はJCI運動において最も重要な要素です。

我々は有意義な様々なプロジェクトを通して、自治体や組織と密接に連携し、地域社会に貢献しており、次世代のためにより良い環境を作り、JCIの価値を持続させるという共通の目標を持っています。

2022年の香港沙田青年商會のスローガン「United We Stand」はメンバーが団結し、あらゆる困難に立ち向かうことを意味し、それこそが未曾有の時代における成功の鍵なのです。会うことはできませんが、私たちの心は繋がっているのです。

和歌山青年会議所創立65周年、そして姉妹提携30周年おめでとうございます。



友好 JCI
釜山東萊青年会議所 会長

ホ・ビン

和歌山青年会議所が創立65周年を迎えられましたこと釜山東萊青年会議所を代表して心からお祝い申し上げます。

創立以来、諸先輩方が一日一日の積み重ねで地域の発展の為、努力し培ってこられたことに敬意を表します。

本年度は1984年に友好JCIとして締結してから38周年を迎えます。私たちの諸先輩方が両都市の経済、文化の交流を通じてお互いに理解を深めたように両都市の躍進と開発に貢献するためにどういったことができるかを考えていかなければなりません。我々が友好JCIとして培ってきた強い友情と信頼のもと地域を活性化の一助のため、より良いコミュニケーションを図りしっかりと考え交流をしていきたいと思っております。

これからも和歌山青年会議所と釜山東萊青年会議所が友情をより堅いものとし、和歌山青年会議所の発展と関係者皆さまのご多幸を祈念して祝辞とさせていただきます。

2018年

●基本理念

『明るい豊かな和歌山の実現』

●スローガン

～シンプルに たのしく いこう!～

第62代理事長 森下 泰寛



2019年

●基本理念

『探 究』

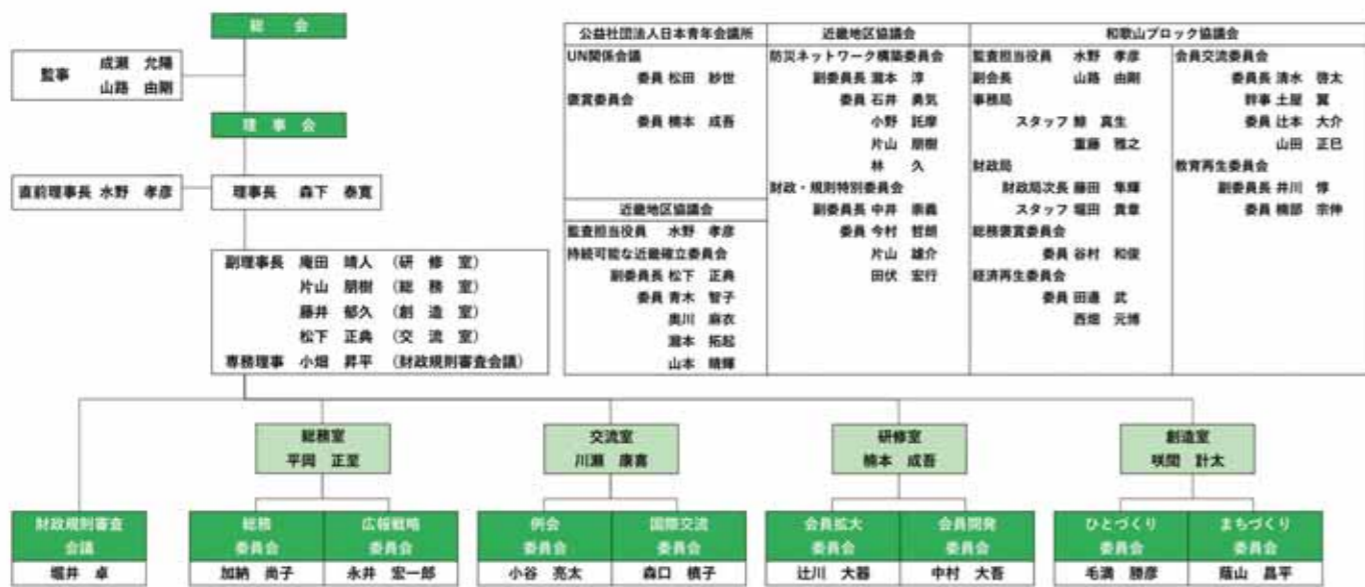
●スローガン

～ひとを思い先駆する青年たれ～

第63代理事長 山路由剛



組織図



組織図



事業紹介



2018年度は「シンプルに たのしく いこう!」のスローガンをもとに1年間、青年会議所運動に取り組んでまいりました。創立60周年の翌年ということもあり、新しく一歩を踏み出す年となりましたが、これからの青年会議所が目指すべき「明るい豊かな社会」が何なのかを考え、「まち」全体が元気になり、和歌山で住み暮らす「ひと」の心がより豊かになるように事業を構築してまいりました。

会員開発事業のわんぱく相撲においては初となる和歌山県大会を開催し、和歌山県の代表として全国大会に挑みました。また、紀州おどりでは、入会2年目メンバーの新しいアイデアをもとに、和歌山市協力のもと和歌山城天守閣回廊にて初となるおけけ屋敷を開催いたしました。市民の皆さまにも喜んでいただいた上、本年度のスローガンの「たのしさ」を伝播できる事業となりました。

ひとつづくり事業では、自分で判断することの大切さを学んでもらいたいという想いのもと、子供たち自身で仕入れから値決め、そして販売までを行うフリーマーケット「こどもわくわくマルシェ」を開催いたしました。参加していただいた子供たちには楽しさの中にも学びや気づきを得ていただきました。

1年間、歴史と伝統のある一般社団法人和歌山青年会議所の理事長を務めさせていただき、先輩方が作り上げて来られた重みをあらためて再認識させていただくとともに、先輩をはじめ、多くのメンバーの皆さまに支えられて運動を行えたことに関し、心より感謝を申し上げます。天候の問題で行えない事業が複数であったことは大変残念ではありましたが、各委員会とも「シンプルに たのしく いこう!」のスローガンのもと前向きに、そして真摯に事業構築に邁進していただきました。青年会議所を通じてご支援ご協力いただいた全ての方々へ心からの御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

事業紹介



2019年度は私たちが愛する和歌山市という「まち」やそこで暮らす人々にとっての益をもたらすには、「何ができるか」ではなく「何をしなければいけないか」を探究していく組織でなければならないという想いから「探究」という言葉を理念に掲げ、全ての事業に対し、伝統を重んじつつも「時代や地域性に則した内容であるか」という自問自答を繰り返し、変化を恐れず挑戦し続ける組織を構築してまいりました。

交流事業では、私たち自らが地域リーダーとして資質を高めるべく、学び、自己の視野を広げる例会を多く設けました。7月には「逆境に打ち勝つ」精神性を学ぶために、日本野球会のレジェンドである金本知憲氏を講師としてお招きし、約1,200名の一般市民の方々とともにプロアスリートの精神性を学ぶことができました。9月には組織全体で「SDGs」への理解を深めるために、地方創生をテーマとしたカードゲームを行い、全員参加型の会としたことで、会員全員の「まちづくり」に対する意識変革、向上につながりました。

ひとつひとつを結ぶまちづくり事業では、各種団体と共同事業を実施し、メインタイトルを「パワーアップカヤマ」と題し、当日には四季の郷公園にて夜には無数のスカイランタン、地上は埋め尽くす限りの竹の灯籠と幻想的な「マチノアカリ」を作り出すことに成功し、来場された約7,800名の方々にも大いに楽しんでいただくことができました。

1年間、言葉では語りつくせないほどの濃密な時間を過ごし、貴重な経験をさせていただきました。そして、語れば語るほど出てくるのは皆さまへの感謝の気持ちだけです。私のような特筆すべきことがないような人間が何のご縁か、多くの青年経済人を抱え、60年以上続く一般社団法人和歌山青年会議所の理事長をさせていただいたこと大変誉れに思っており、また、皆さまとともに一年走り続けられたことは私の何よりの誇りであり、今日まで支え、叱咤激励いただきました皆さまに心より感謝いたします。本当にありがとうございました。

2020年

●基本理念

『矜持』

●スローガン

～果敢に挑戦し、成長の糧にせよ～

第64代理事長 松下正典



2021年

●基本理念

『革新』

●スローガン

～仲間とともに輝く未来を創出しよう!～

第65代理事長 川瀬康喜



組織図



事業紹介



2020年度は、我々が住み暮らす和歌山市や自分自身に矜持を持ち、地域に対し何事にも果敢に挑戦することで、「利他」の精神を学び、かけがえのない時間を過ごすことで、自己成長という「自利」の精神を身に付けることを掲げ新年を迎えました。しかし、世界中を震撼させる新型コロナウイルスにより日常生活をはじめ社業、そして青年会議所までもが、今までの当たり前であったことが当たり前ではなくなり、ニューノーマルの始まりの年でありました。

魅力発信事業では、地域に対して各飲食店が行っているテイクアウトを知っていただき、我々と同じ様に地域のテイクアウトを盛り上げていただくために、新たな事業としてテイクアウトモブを考え、我々が取り組んでいる活動を地域の方々へ発信しました。

国際交流事業では、相互訪問ができず、WEBを通じて香港沙田青年商會とディスカッションを2回行い最後の公式会議にて発表を行いました。そして香港沙田青年商會との共同事業として、3つの施設に子供用マスク、消毒液を配り施設からの感謝と地方紙とラジオにも取り上げていただき、地域に対し青年会議所のブランディングの向上につながりました。

地域社会貢献構築事業では、人との接触が難しいからこそ、SNSを通じて「和歌山からハッピーに」をテーマに和歌山に関する作詞・作曲家、歌手、振付師を巻き込み「ハビネスでいこう」を制作し、地域の団体とともに盛り上げていただきました。

新型コロナウイルスだからと諦めず最後まで活動していただいた会員の皆さまには言葉には言い表せないほどの感謝申し上げます。我々は青年経済人であるからこそ、従前の良いところは引き継ぎ新しい時代を切り開き、そして青年会議所は単年度制であるからこそ、想いや悔しさを次へと繋いでいかなければなりません。青年会議所という学び舎は、地域を想う心、そして様々な価値観をもった仲間とともに活動し自己の成長を得られる機会であると。

特別会員はじめ和歌山青年会議所に関わっていただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

組織図



事業紹介



2020年から続く新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、私たちの生活様式や働き方は大きく変化しました。それに伴い世の中ではマスクの着用やソーシャルディスタンスを保つことが生活の常識となり、社会においても様々な業種が営業自粛を求められ、働きたくても働けない状況となり、当たり前であった生活や社業が当たり前ではなくなってしまいました。和歌山青年会議所運動・活動にも多大な影響を受け、2021年1月から5月までの全ての事業はハイブリット開催や完全WEB配信と様々な手法を取り組み事業構築いたしました。オンラインを駆使しながらも、やはり人と人が向き合っコミュニケーションを取ることが大事と考えメンバー一同のご協力により6月から最後の12月定時総会まで実地開催をすることができました。

和歌山市に新設された和歌山城ホールにて「パワーアップカヤマ〜ヒトニヒカリ〜」を開催し、コロナ禍で低迷している経済や市民の心に向けて光を灯したいという想いから、医療従事者や学生とパートナーシップを図りました。当日は約2,000名の方にご来場いただき、市民の皆さまとともにまちづくりに対する当事者意識が高まり、和歌山市の持続的な発展につながりました。

昨年度アゼリア賞を受賞された岡なづきさまの支援を行いました。地域の未来を担う子供たちに向け音楽と英語を取り入れた課外授業を行っていただき、文化振興に対する意識が高まりました。

2021年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により思うように事業を実施することが難しい状況でありました。和歌山青年会議所第65代理事長として地域を盛り上げていくためにメンバーの皆さまと切磋琢磨しながら1年4か月間歩みを止めることなく突き進んでまいりました。青年会議所には、かけがえのない仲間との出会いと、自身が求めれば求めるほど自己成長の機会が数多く存在します。未だにコロナ禍の終息の兆しが見えない状況ではありますが、我々青年経済人が何事にも恐れず果敢に挑戦し続ける姿にこのまちの未来があると確信します。2021年度和歌山青年会議所に携わっていただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

2022年

●基本理念

『Challenge』

●スローガン

～踏み出そう!! 躍進への一步を～

第66代理事長 辻川大器



物故会員リスト



前田光穂
2017年11月22日【享年57歳】



山路日出男
2017年12月23日【享年76歳】



南方淳一
2018年1月15日【享年75歳】



中井 惣
2018年2月16日【享年91歳】



南部正彦
2018年3月8日【享年71歳】



野井 晋
2018年3月9日【享年85歳】



志茂幸太郎
2018年3月21日【享年78歳】



亀井紀泰
2018年4月8日【享年77歳】



木村一朝
2019年3月4日【享年93歳】



原 禎一
2019年8月13日【享年93歳】



岩崎光廣
2019年10月14日【享年71歳】



宮本卓彦
2020年7月12日【享年69歳】



南 良和
2020年9月13日【享年82歳】



日茂好晴
2020年11月5日【享年87歳】



岩本謙三
2021年3月16日【享年75歳】



中谷晃也
2021年6月9日【享年57歳】



北 隆文
2021年9月1日【享年64歳】



中谷尚文
2021年11月30日【享年75歳】



廣田耕志
2021年12月16日【享年81歳】



中井 均
2022年3月20日【享年58歳】



長尾正剛
2022年8月23日【享年71歳】



小島真哉
【不明】

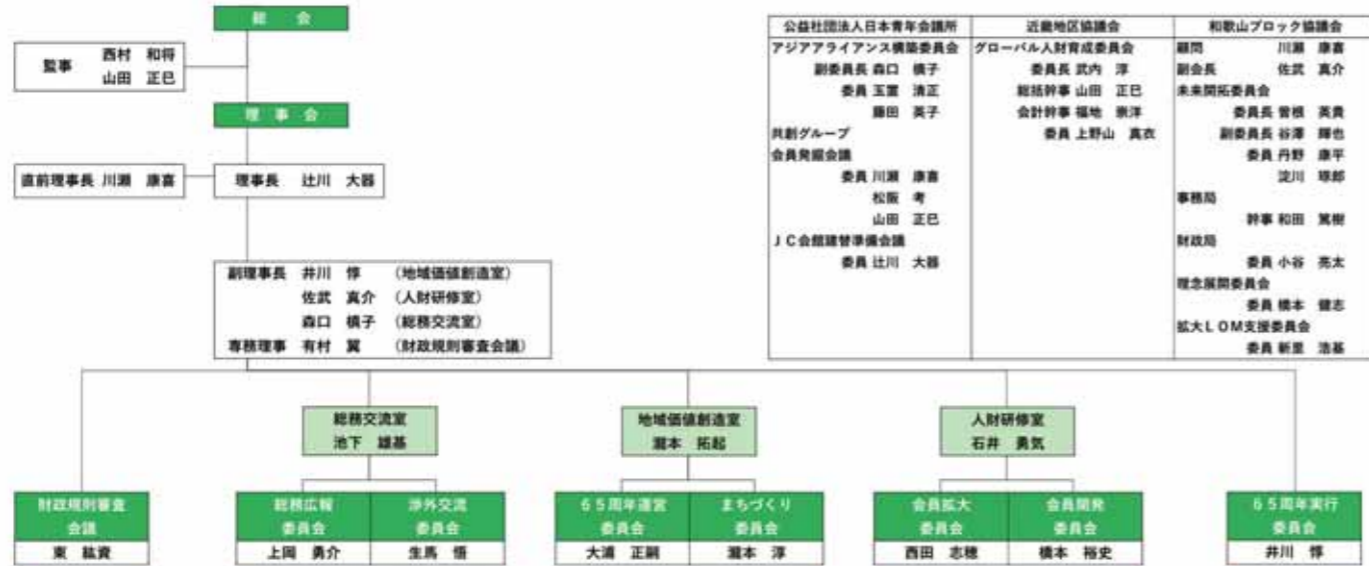


中川俊夫
【不明】



中野正造
【不明】

組織図



事業紹介



激動する時代において、未知の可能性を切り拓いてきた組織だからこそ、新しい時代を誰よりも先駆けていくために、青年経済人として明るい豊かな社会へ向けて躍進への一步を踏み出すことが重要であります。2020年初めから続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業は中止、延期を余儀無くされ、又はオンライン化や対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド化といった変化に迫られましたが、本年度は人と交流できる全ての事業を、リアル開催で推進していきたいと会員に想いを伝え事業に取り組んでまいりました。

新春交歓会を延期し行った2022年度交歓会、会員拡大のためにリアルな交流を行い共に学んだ3月例会、現役会員の交流を行い士気があがった交流例会、新たな手法を取り入れその中でも多くの方に参加いただけるように開催したわんぱく相撲、若手メンバーが中心となりメンバーの交流をもたらしつづけた6月例会、市民の皆さまと学びを共有した「月曜から夜ふかし」でおなじみの桐谷広人様をお招きして行った公開例会。

いろいろな状況でその時できない事業については延期してでもリアルで開催する。その想いを理解し取り組んでいただきました和歌山青年会議所現役全員にまたご理解いただきご参加いただきました官公庁並びに各種団体はじめ市民の皆さまに感謝申し上げます。

この日を迎えるまでにいろいろと乗り越えなければならぬ課題はありましたが、信念を持ち取り組んで良かったと思います。

確固たる信念を持った行動が感動を呼び、周囲の意識を変えることができます。

私たちはこれからも立ち止まらずChallengeをしていきます。

今こそ、躍進への一步を踏み出しましょう。

■ 現役会員リスト

理事長 辻川 大器
直前理事長 川瀬 康喜
監事 西村 和将
監事 山田 正巳

総務交流室
副理事長 森口 慎子

地域価値創造室
副理事長 井川 惇

人財研修室
副理事長 佐武 真介

専務理事 有村 翼

総務交流室
室長 池下 雄基

地域価値創造室
室長 瀧本 拓起

人財研修室
室長 石井 勇気

財政規則審査会議
議長 東 紘資
副議長 松阪 考
副議長 小谷 亮太
副議長 辻本 大介
幹事 行友 大樹

総務広報委員会
委員長 上岡 勇介
副委員長 谷澤 輝也
副委員長 島本 和典
副委員長 辻本 直史
副委員長 長木 壮矢
幹事 藤田 英子
委員 小野 託摩
委員 小野 豊
委員 神野 智史
委員 木下 竜一
委員 谷口 竜一

渉外交流委員会
委員長 生馬 悟
副委員長 加藤 真也
副委員長 佐藤 匠
副委員長 玉置 清正
副委員長 橋本 健志
幹事 妻木 伸行
委員 蔭山 昌平
委員 木下 耕平
委員 武田 基記
委員 林 久

65周年運営委員会
委員長 大浦 正嗣
副委員長 片山 雄介
副委員長 遠藤純二郎
副委員長 辻本 智子
副委員長 西畑 元博
幹事 濱田 圭彦
委員 重藤 雅之
委員 千賀 隆平
委員 土井 豪士
委員 中前 佳苗

まちづくり委員会
委員長 瀧本 淳
副委員長 寺浦 允登
副委員長 加藤 隆志
副委員長 新里 浩基
副委員長 山田 直輝
幹事 大谷 龍児
委員 大西 清悟
委員 木谷 洋輔
委員 武市 健一
委員 榎本 奈美子
委員 村田 隼介

会員拡大委員会
委員長 西田 志穂
副委員長 山中 敏生
副委員長 岩崎光一郎
副委員長 長井 祿宗
副委員長 林 翔平
幹事 福井 貴士
委員 逸木 盛行
委員 岡崎 祐樹
委員 岡本 鉄平
委員 久保 智嗣
委員 田上 顕生
委員 武内 淳
委員 西原 勇登
委員 東出 和馬
委員 堀本 幸司
委員 前岡 和樹
委員 真崎 佳奈
委員 若林 拓也

会員開発委員会
委員長 橋本 裕史
副委員長 松原 翔太
副委員長 石本 奈穂
副委員長 高橋 宣貴
副委員長 和田 篤樹
幹事 仲西 雄亮
委員 上野山真衣
委員 大島 空也
委員 奥山 駿介
委員 曾根 英貴
委員 高川 徹也
委員 丹野 康平
委員 中西奈緒紀
委員 中山 雄貴
委員 福地 崇洋
委員 松葉 太
委員 南方 拓磨
委員 矢田 聖人
委員 山下 裕司
委員 山田 義人
委員 山本 晃生
委員 湯川 雅也
委員 淀川 琢郎

■ 明るい次代への一步を踏み出そう

2022年現在において、世界は信じがたいスピードで変化しています。その速さは私たちの思考や制度が追いつかないほどです。そこに拍車をかけたのは新型コロナウイルスの蔓延であることは間違いありません。生活様式は一変し、当たり前だと思っていた価値観が180度変わり、コミュニケーションの方法すらも変化しました。社会が以前の姿に戻ることはなく、今起こっている諸問題を乗り越えて新しい社会を築き上げることしか、我々に残された道はありません。激動する世界情勢と日本経済の課題。和歌山市にとってもそれは他人事ではなく、まちの経済の低迷や中心市街地の空洞化、そして人口減少など様々な問題が山積しております。

自らの行動によって未来が大きく変わる時代、不確実性の高い現代だからこそ、和を尊び、人の意見に耳を傾けることができ、主体性のある日本人元来の精神を見つめ直し、互助の精神のもと、ひとと地域が団結し問題解決に取り組まなければなりません。和歌山青年会議所は、いつの時代であっても、ひとを想い、まちを想い、明るい豊かな社会の実現のため、率先して地域の発展を促してまいりました。

先輩諸氏が今日まで築き上げてこられた65年の功績と信念を継承し、混沌とした今の時代に和歌山青年会議所だからできることにひた向きに取り組む、これからも多様性のある我々JAYCEEが率先して行動し、社会を力強く牽引し、和歌山市の地域活力を取り戻すため、まちの人々や団体の相互の力を結集し、まちの発展を先導します。

和歌山青年会議所メンバー一人ひとりが、リーダーであるという自覚を持ち、地域になにができるかを考え、時代の流れを作り出し、明るい豊かな未来に向けて、力強く運動を推し進めてまいります。

